

平成 28 年度 白根地域ケアプラザ事業実績評価

平成 28 年度の評価	
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター職員及び生活支援コーディネーターに欠員が生じた期間がありました。職員体制の安定化を図ってください。
地域活動交流部門	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・地域の課題を把握した上で、高齢者・子ども・障害児者支援等、幅広い分野で積極的に事業を展開しています。特に今年度は、旭区内の他のケアプラザと協働して講演会やウォーキングイベントを企画・実施したりするなど、エリアを超えたケアプラザ同士の連携も進んでいます。 ・ボランティアコーディネートの視点を常に意識しながら地域に出ることで、ニーズを早めにキャッチし、必要とするところに迅速かつ適切に人材をつないでいます。
地域包括支援センター部門	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・エリアから遠く、地域ケアプラザを知らない住民に対し、ケアプラザ便りを活用して周知に取り組みました。今後も相談先として認知していただけるようお願いいたします。 ・地域に積極的に出向いた成果が現れ、地域のネットワーク作りが進んでいます。 ・介護予防活動が十分でない地区をアセスメントし、教室の開催を行いました。今後さらに継続的な活動につなげていけるよう支援をお願いします。 ・ケアプラザ協力医との連携がうまくいき、そこから医師とケアマネジャーの連携に広げていけるよう、積極的な取り組みを行いました。
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・包括レベル地域ケア会議では、地域の見守り活動をテーマに、先行事例の研究やグループワークを通して、見守り活動の充実について検討を開始しました。引き続き、この取組を充実させていただくことを期待します。 ・今後、旭区社会福祉協議会の一層コーディネーターや地域活動交流部門と連携し、地域ニーズの把握および取組の検討等を進め、重点的な取組事項を定めて、事業にあたっていただくことを期待します。
<p>< 評価 (S/A/Bの3段階) ></p> <p style="text-align: center;">A</p>	